

国内初 在来線自動運転の実証運転を JR 九州香椎線にて開始

2020年12月24日

日本信号株式会社

日本信号株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：塚本英彦）は、ATS-DK（※1）をベースとした自動列車運転装置（高機能ATO（FS-A TO））（※2）を開発し、九州旅客鉄道株式会社（以下、JR九州）様の営業路線で実証運転を開始しました。

在来線（ATS区間、踏切あり）における自動運転の導入は国内初となります。ATSをベースとした自動運転のメリットは、大きな初期投資を伴わず自動運転システムを実現できることです。作業の自動化や機械化を推進することで、鉄道に従事する労働人口減少等の社会課題に対する解決が期待されます。

今回の実証運転でATS区間での在来線における自動運転の運行に関する知見を蓄積し、安全で安定した輸送を実現する自動運転システムの実現を進めてまいります。

※1 ATS-DK：JR九州様の信号保安システム。連続的な速度照査により列車制御を行うシステム。

※2 FS-A TO：保安装置と同等の信頼性とフェールセーフ性を有する高機能な自動列車運転装置。

<実証運転概要>

実施区間	香椎線 西戸崎駅～香椎駅間
使用車両	819系（DENCHA）1編成（2両）

以上



問い合わせ先

日本信号株式会社 総務部

〒100-6513 東京都千代田区丸の内1-5-1 新丸の内ビルディング13階

Tel 03-3217-7200 Fax 03-3217-7300 E-Mail info@signal.co.jp